

# 宿泊約款

---

## 【適用範囲】

### 第1条

1. 当館の締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

## 【宿泊契約の申し込み】

### 第2条

1. 当館に宿泊申し込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。
  - (1) 宿泊者の住所、氏名、年齢、性別、職業、宿泊人数、同室者の年齢区分(大人・小人・幼児)
  - (2) 外国人にあっては、国籍、旅券番号、前泊地、後泊地
  - (3) 宿泊日及び到着予定時刻、出発日、出発時刻
  - (4) その他当館が必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第3号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館はその申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。
3. 未成年のご宿泊について
  - (1) 20歳未満(高校生を含む)の方のみで宿泊の場合は、親権者様署名の同意書の提出が必要です。
  - (2) 15歳未満の方がご宿泊いただく場合は保護者(20歳以上)の同行が必要です。

## 【宿泊契約の成立等】

### 第3条

1. 宿泊契約は、当館が前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当館が承諾しなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、申込金のお支払いを求める場合がございます。
3. 前項の申込金は、まず、宿泊客が支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第14条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば返還します。

## 【宿泊契約締結の拒否】

### 第4条

当館は次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。

1. 満室により客室の余裕がないとき。
2. 宿泊の申し込みが、この約款によらないものであるとき。
3. 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定または公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあるとられるとき。
4. 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。

- イ.暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
  - ロ.暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
  - ハ.法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
5. 宿泊しようとする者が、伝染病であると明らかに認められるとき。
  6. 宿泊しようとする者が利用施設もしくは利用施設職員に対し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  7. 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
  8. 宿泊しようとする者が、泥酔等により他の宿泊客や近隣住民に迷惑を及ぼすおそれのあるとき。他の宿泊客や近隣住民に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。（都道府県の規定に基づく）

### 【宿泊客の契約解除権】

#### 第5条

1. 宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当館は宿泊者が宿泊日当日の午前0時（あらかじめ到着時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過時刻）になっても到着しないとき、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとして処理することがあります。
3. 前項の規定により解除されたものとみなした場合において、宿泊者がその連絡をしないで到着しなかったことが列車、航空機等の公共の運輸機関の不着または遅延その他により宿泊者の責に帰さない理由によるものであることを証明したときは、違約金はいただきません。

### 【当館の契約解除権】

#### 第6条

1. 当館は次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
  - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、または同行為をしたと認められるとき。
  - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
    - イ.暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
    - ロ.暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
    - ハ.法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
  - (3) 宿泊客が泥酔等で放歌高吟、喧騒な行為、他の宿泊客や近隣住民に迷惑を及ぼすおそれのあると認められたときや、他の宿泊客に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。（都道府県規定に基づく。）
  - (4) 寝室での寝たばこ、客室やベランダでの喫煙、消防用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要なものに限る。）に従わないとき。
  - (5) 宿泊客が伝染病者であると、明らかに認められるとき。
  - (6) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  - (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
  - (8) 宿泊客が本約款その他利用規則等に違反したとき。

2. お客様はホテルの静かな環境を尊重し、他の宿泊客の迷惑にならないようご留意いただく必要があります。特に午後10時～午前8時までの時間帯には、高声、放歌、喧騒な行為、大きな物音を立てたりしないようご注意願います。お客様の責任下にある人の行動に伴う騒音が他の宿泊客や近隣住民の迷惑になりかねないと考えられる場合、騒音源となっている客室のお客様および宿泊者の退去を求めることができます。

3. 当館が前項の規定に基づいて宿泊予約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

#### 【宿泊の登録】

##### 第7条

宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントまたは指定のチェックイン場所において、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊者の住所、氏名、年齢、性別、職業、宿泊人数、同室者の年齢区分(大人・小人・幼児)
- (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、前泊地、後泊地
- (3) 宿泊日、出発日、出発時刻
- (4) その他当館が必要と認める事項

#### 【客室の利用時間】

##### 第8条

宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。

#### 【宿泊客の手荷物または携帯品の保管】

##### 第9条

1. 宿泊者がチェックアウトしたのち、宿泊者の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当館は、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。所有者の指示がない場合又は所有者が判明しない場合は、発見日を含めて7日間保管し、その後処分します。また、貴重品については発見日を含めて7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。

2. 置き忘れられていた残地物が、飲料、食品、たばこ、その他当館が衛生的でないと判断したものに該当する場合、当館は宿泊客に通知することなく清掃時に当該残置物を処分します。雑誌、化粧品などは発見日を含めて1日間保管し、その後処分します。

3. お客様の所持品が館内又は敷地内で劣化、紛失や盗難にあった場合（例えば館内に設置してある洗濯機内にお客様が所持品を放置した場合など）、当館は責任を負いません。

#### 【料金の支払い】

##### 第10条

1. 料金の支払いは通貨又はクレジットカードにより、予約が確定した際にお支払いいただきます。
2. 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合にお

いても、宿泊料金は申し受けます。

#### 【利用規則の遵守】

##### 第11条

宿泊者は当館の利用規則に従っていただきます。

#### 【当館の責任】

##### 第12条

1. 当館の宿泊に関する責任は宿泊者が当館のフロントにおいて宿泊の登録を行ったときに始まり、宿泊者が出発するために客室をあけたときに終わります。
2. 宿泊客が当館の利用規則に従わない為に発生した事故に関して、当館はその責任を負いません。
3. 当館の責に帰すべき理由により、宿泊客に客室の提供ができなくなったときは、天災その他の理由により困難な場合を除き、その宿泊客にできる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
4. 当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、またはそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

#### 【駐車場の責任】

##### 第13条

1. 宿泊客が当館の管理する駐車場（以下「駐車場」という。）をご利用になる場合、当館は場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理にあたり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。
2. 当館は、当館が管理している駐車場内における車両、その付属装着物又は積載物の盗難、紛失又は毀損については一切責任を負いません。
3. 当館は、駐車場の利用者が、駐車場内に存在する車両又はその付属装着物もしくは積載物等に起因して被った損害、その他で発生した事象に起因して被った損害について一切責任を負いません。

#### 【宿泊客の責任】

##### 第14条

1. 宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。お客様は施設を尊重し室内装飾を大切に扱うよう求められます。お客様は、ご自身または同室の宿泊者の責に帰する損壊、故意の破壊、盗難またはその他の問題に起因して当館が所有する家具調度品（タオル、カーペット、枕、布団およびその他物品、備品）が失われた場合、これにより生じた工事費や物品の購入費相当額を返済するよう義務付けられます。
2. 客室内は全面禁煙となっております。健康、安全および衛生上の明らかな理由から、客室内での喫煙または臭気の発するものを放置し、客室の使用に障害が生じた場合、清掃料及びカーテン、壁紙、ベッドリネン、カーペットなどのクリーニング代として50,000円をお客様に請求できるものとします。

### 【金銭その他貴重品】

#### 第15条

1. ご滞在中の金銭、貴重品の管理はお客様の自己管理となっております。
2. 金銭および貴重品の紛失、盗難、滅失、毀損等の損害については一切責任を負いかねますので、ご了承ください。

### 【コンピューター通信の使用】

#### 16条

当館内からのコンピューター通信のご利用にあたりましては、お客様ご自身の責任にて行うものとします。コンピューター通信のご利用中にシステム障害その他の理由によりサービスが中断し、その結果利用者がいかなる損害を受けた場合においても、当館は一切の責任を負いません。また、コンピューター通信のご利用について当館が不適切と判断した行為により、当館及び第三者に損害が生じた場合、その損害を賠償していただきます。

### 【約款の変更】

#### 第17条

1. 当館は、必要に応じて合理的な範囲でこの約款の改定を行うことができます。なお、改定したこの約款の効力は全宿泊客に及ぶものとします。
2. お客様は、本約款に加え、各予約媒体に規定されている利用規約、条件、および注意事項を遵守するものとします。

# Accommodation Agreement

---

## 【Scope of application】

### Article 1

1. The Accommodation Contract entered with our Hotel and its related contracts shall be based on this Contract, and any matter not stipulated in this Contract shall be governed by ordinance and generally established practice.

2. Notwithstanding the preceding clause, our Hotel can include extra contract so long as it does not conflict with the intent of this Contract, ordinance, and generally established practice.

## 【Application for accommodation contract】

### Article 2

1. Those who wish to apply for accommodation at the hotel are requested to inform the hotel of the following matters.

(1) Guest's address, name, age, gender, occupation, number of guests, age classification of guests sharing the room (adult, children, infant)

(2) For foreigners: nationality, passport number, previous place of stay and the next place of stay

(3) Accommodation date and estimated time of arrival, departure date, departure time

(4) Other matters deemed necessary by the hotel

2. If a guest requests to continue staying beyond the accommodation date set forth in item 3 of the preceding paragraph during staying, the hotel will treat it as if a new accommodation contract had been applied at the time the request was made.

3. About accommodation for minors

(1) If the guest is under the age of 20 (including high school students), you will need to submit a consent form signed by the parent or guardian.

(2) If you are under 15 years old, you must be accompanied by a guardian (20 years old or older).

## 【Establishment of accommodation contract】

### Article 3

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.

2. When Accommodation Contract is established, the booking deposit settled will be collected.

3. The payment mentioned in the preceding paragraph shall first be applied to the accommodation fee to be paid by the guest, and in the event that the provisions of Articles 6 and 14 apply, the application fee shall be applied in the order of penalty and then compensation. If there is a remaining amount, it will be refunded.

## **【Refusal of Accommodation Contract 】**

### Article 4

The hotel may not accept the conclusion of an accommodation contract in the following cases.

1. When there is no room due to full occupancy.
2. When the application for accommodation does not comply with this agreement.
3. When it is considered that the person who intends to stay may act in violation of the provisions of laws and regulations, public order, or good manners and customs regarding accommodation.
4. When the person who intends to stay is deemed to fall under any of the following (a) to (c).
  - (a) Law Concerning Prevention of Unjust Acts by Boryokudan Members (Act No. 77 of 1991) The gangsters stipulated in Article 2, Item 2 (hereinafter referred to as "gangsters"), stipulated in Article 2, Item 6 of the same Article. Members of gangsters (hereinafter referred to as "members of gangsters"), associate members of gangsters, officials of gangsters, and other antisocial forces
  - (b) Is a corporate body or other bodies in which any kind of gang group or crime associate are in control of its business activities.
  - (c) Member of a corporation whose officers are classified as gangsters
5. When the person who intends to stay is clearly recognized as having an infectious disease.
6. When a person who intends to stay has made a violent request to the facility or staff of the facility, or is required to bear a burden that exceeds a reasonable range.
7. When it is not possible to stay overnight due to a natural disaster, facility failure, or other unavoidable reason.
8. When the person who intends to stay may cause inconvenience to other guests or neighboring residents due to drunkenness. When you say or do something that causes significant inconvenience to other guests or neighbors. (Based on prefectural regulations)

## **【Cancellation of Reservation 】**

### Article 5

1. The guest can cancel the accommodation contract by notifying the hotel.
2. If the guest does not arrive at midnight on the day of stay (if the arrival time is specified in advance, that time is the elapsed time of 2 hours), the accommodation contract may be treated as canceled by the guest.
3. In the case that a reservation is deemed canceled but the reason for the guest not making contact or arriving at the hotel is proven to have been caused by public transport such as train, plane, or other causes beyond the control of the Guest, the penalty mentioned in Article 5 Paragraph 1 will not apply.

## **【Right to Cancel Accommodation contract by the hotel】**

### Article 6

1. The hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances:
  - (1) When the guest is deemed liable for conduct or has conducted himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order and good morals in regard to accommodation.

- (2) When the guest is deemed applicable following a to c.
    - a. An organized crime group, a member of organized crime group, a quasi-member of an organized, a member of an organized crime or other antisocial forces.
    - b. When it is a related company or associated an organized crime group or member.
    - c. A person any of the board members are member of organized crime group or has relationship with organized crime group.
  - (3) When the guest is obviously intoxicated and could cause annoyance to other guests or when a person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests. (based on prefectural regulation)
  - (4) When the guest does not follow prohibited actions such as smoking in bed, mischief with fire fighting facilities and otherwise breaches Hotel Regulations stipulated by the hotel. (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing of fires)
  - (5) When the guest can be clearly detected as carrying an infections disease.
  - (6) When the hotel and/or hotel staff l suffers from violent threat or unreasonable burden from the Guest.
  - (7) When the hotel is unable to provide the accommodation due to natural calamities and other causes of force majeure.
  - (8) When the guest break the agreement or other terms of services.
2. The guest needs to respect the hotel's quiet environment and need to be aware that do not disturb other guests. In particular, please avoid high-tone voice, loud singing or other annoying behavior between 10:00pm to 8:00am. When the noise from the actions of people under their responsibility caused by human behavior is considered to be annoying to other guests and neighbors, the guest can be request to leave the room that is the source of noise.
3. In the case the hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding paragraph, the hotel shall not be entitled to charge the guest for any of the services in the future during the contractual period which has not received.

### 【Registration】

#### Article 7

The guest shall register the following particulars at the Front Desk of the hotel or designated check-in place on the day of accommodation.

- (1) Name, Address, age, sex, occupation, number of guests, age of classification roommate (Adult, Child, Kid)
- (2) For non-Japanese Guest; nationality, passport number, previous place of stay or later place of stay.
- (3) Accommodation date, and date and estimated time of departure.
- (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.



### 【Occupancy Hours of Guest Rooms】

#### Article 8

The Guest can use the guest room of the Hotel from 3pm to 11am. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may use it all day long, except for the days of arrival and departure.

### 【 Storage of guest baggage or personal belongings 】

#### Article 9

1. If the guest's baggage or personal belongings are left behind in the hotel after the guest check-out, and the owner is identified, the hotel shall inform the owner and ask for further instructions. When no instruction is given to the hotel by the owner or when the ownership is not identified, the hotel shall keep the item for 7 days including the day it is found, and after this period, the hotel shall report it to nearest police station.
2. If things that customers have left behind judged to be unsanitary such as beverage, food, cigarette or other, the hotel will dispose of the leftovers during cleaning without notifying the guest. When those are such as magazine or cosmetics, they will be stored for one day, including the date of found, and then they will be disposed.
3. If guest's belongings are deteriorated, lost or stolen inside the building or on the premises, the hotel holds no responsibility. (For example, when the customer leaves his / her belongings in the washing machine installed in the building etc.)

### 【Payment of Accommodation Charge】

#### Article 10

1. Accommodation Charges shall be paid with Japanese currency or credit cards when the reservation is confirmed.
2. Accommodation charges shall be paid even if the guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for the guest by the hotel.

### 【Observance of Use Regulation】

#### Article 11

The guests are required to follow our terms of service .

### 【Hotel Responsibility】

#### Article 12

1. The hotel's accommodation responsibilities begin when the guest registers for accommodation at the front desk of the hotel and ends when the guest leaves the room for departure.
2. The hotel holds no responsibility regarding accidents that occurred because guests did not comply with the hotel's usage rules.
3. When it becomes impossible to provide guest rooms by reasons attributable to the hotel's

responsibility, the hotel will arrange other accommodations for the guest under the same conditions as much as possible unless it is difficult due to a natural disaster or other reasons.

4. The hotel shall compensate the guest for the damage if the hotel has caused such damage to the guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the hotel is not responsible.

#### **【Parking Responsibility】**

##### Article 13

1. When the guest uses the parking lot managed by the hotel, the hotel holds no responsibility for managing the vehicle since the hotel lend the place. However, the hotel shall compensate the guest for damage caused through intent or negligence on the part of the hotel in regards to the management of the parking lot.
2. The hotel holds no responsibility for theft, loss or damage of vehicles, their accessories or loads in the parking lot managed by the hotel.
3. The hotel holds no responsibility regarding damages suffered by parking lot users due to vehicles or their accessories or loads existing in the parking lot, and damages suffered due to other events that occurred.

#### **【Guest Responsibility】**

##### Article 14

1. The guest shall compensate the hotel for the damage caused through intention or negligence on the part of the guest. The guest is required to respect the facility and treat the interior decoration carefully. Also, if the guest lose furniture owned by the hotel (such as towel, carpet, pillow, bedding, and other good or equipment) due to damage, intentional destruction, theft or other problems attributable to the guest, the guest is obliged to pay the amount equivalent to the construction and goods cost.
2. All rooms are non-smoking rooms. If the guest room cannot be used due to smoking or odorous substances are left by the guest, the hotel will charge the customer 50,000 yen as cleaning fee for curtains, wallpaper, bed linen, carpet, etc. for health, safety and hygiene reasons.

#### **【Money and other valuable goods】**

##### Article 15

1. The guest holds all responsibility for the management of money and valuables during the stay in the hotel.
2. Please note that the hotel holds no responsibility for lost, damage, and theft of money and valuable goods.

**【Use of Internet】**

Article 16

1. The guest is responsible for using computer communication from the hotel. The hotel holds no responsibility if the user has received any damage due to service interruption by a system failure or other reasons while using computer communication. In addition, the guest shall be liable to any damage or loss of the third party caused by the case of which the hotel decides that the use of the computer network by the guest was inappropriate.

**【Change of Agreement】**

Article 17

1. The hotel can revise this agreement as reasonably necessary. In addition, the revised terms and conditions shall be effective for all guests.
2. In addition to this agreement, the customer shall comply with the terms of use, conditions, and precautions stipulated in each reservation medium.